
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより第132号(通巻第199号)

2014年12月22日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen-ml@yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※このセンターだよりで紹介した研究会, 研修, 教育フォーラムに関するお知らせは, 改変しない限り, 自由に複写, 配布していただいて結構です。

■ 山梨大学「教師塾」第3弾『初任者元気アップ講座(仮題)』のお知らせ

附属教育実践総合センターでは, 「教師塾」の取り組み第3弾として, 4月より学校現場で教壇に立つ学生のみなさん, また, 将来教師の道を希望している学生のみなさんを対象に, 『初任者元気アップ講座(仮題)』を平成27年2月17日(水)に開催する予定です。

教育実習や学生ボランティア経験だけでは分からない学校現場や教師としてのあんなこと, こんなことについて, 気楽に気軽に話を聞き, 討議できる時間にしたいと思います。
現在予定している内容は以下の通りです。

- ① 現職教員によるミニ講座(15分×3コマ)
- ② 学校管理職経験者による講話(15分×2コマ)
- ③ 何でもQ&A(もっと知りたいあんなこと, こんなこと)

講座, 講話の内容は検討中ですが, 学生のみなさんの要望を取り入れた内容にしていきたいと考えていますので, CNS等を通して, 「是非聞きたい」「取り上げてほしい」という内容を募集する予定です。

例えば・・・

- ・子どもたちとの劇的な出会い! 魅力ある学級びらきにするには?
- ・毎日のことだから大変! 教材研究はどうすればいいの?
- ・忙しい学校現場。学級事務を手際よく処理していくには?
- ・保護者との対応が心配! どんなことを心がければいいの?
- ・授業を魅力的に・・・授業に取り入れたいあんな技, こんな技 など

どんなことでも結構ですので, 後日, 配信されるCNSを通して要望をお寄せいただけますようよろしくお願いいたします。(各講座の先生方におかれましても, 是非, 学生のみなさんにお声かけをしていただければ幸いです。)

よろしくお願いいたします。

■ 平成 26 年度第 3 回連携・教育研究会のご報告

第 3 回連携・教育研究会が 12 月 3 日（水）に、山梨県総合教育センターにおいて開かれました。全体会では本学附属教育実践総合センター長である鳥海順子教授による講演会、そして、分科会では「理数教育」「言語活動」の 2 グループの主事研究に関わる協議が行われました。

当日は、大学教員と山梨県総合教育センターの主事の先生方、合わせて 40 名ほどが集まり、有意義な時間を過ごすことができました。

鳥海順子教授による講演会は、「特別支援教育の展望」をテーマに、障害児教育が戦前、戦後に歩んできた経緯や山梨県における障害児教育について、そして、インクルーシブ教育へと変わっていく特別支援教育について改めて学ぶ機会となりました。まとめとして、これからの特別支援教育への展望の視点として、「すべての児童生徒を対象に」「特別支援教育の理念を生かした教育へ」「個々の教育的ニーズに応じた柔軟な教育」「『違い』の尊重」「必要な支援の用意（障害児教育の蓄積）」「地域で学ぶ、生活することを原則に」「多様な学びの方法の選択」「何度でもやり直しができる仕組み」が挙げられ、今後の具体的な取り組みについて、多くの示唆を得ることができました。



■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」第 2 回連絡協議会

12 月 9 日に、「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」第 2 回連絡協議会が県庁防災新館にて開催され、教育相談活動について県 PTA 協議会事務局、精神保健福祉センターなど関係機関と情報交換を行いました。また、本センター教育相談担当（鳥海）が講師となり、研修会を実施しました。今後も相互の連携を強化し、教育相談活動を充実させていきたいと思います。

■ 附属教育実践総合センター事業「山梨大学教師塾 公開授業 PART2」の報告

平成 26 年度からの試みとして、教育実践総合センターが主催する公開授業を開催しています。1 回目は平成 26 年 7 月 29 日の 5 限に「道徳の時間の指導」を実践センターの蘆原桂教授が実施しました。

2 回目の公開授業は、平成 26 年 12 月 17 日の 5 限に「小学校 6 年算数：場合の数」の授業を実践センターの一瀬孝仁准教授が行いました。第 1 回のアンケートで教科の授業も経験したいというリクエストに応じての実施となりました。

当日は学部の学生 12 名、教職大学院生 7 名、計 19 名の参加がありました。来年度に教育実習を経験する 2 年生や 4 月から現場に立つ 4 年生の参加もあり、一人一人が自分の教師力向上のために先輩教師の授業実践から多くの事を学びました。参加者の感想を紹介します。

- ・具体的な授業方法を実際に体験することで学ぶことが多かった。模擬授業という形式はとてもよいと思う。授業を見ることの大切さを実感できた。
- ・今後の役に立つ内容は盛りだくさんのとても面白い授業だった。自分のものにできるように

日々活用したい。

・一番よいなと思ったのは、子どもたちに自分なりの表現で言い直させていたところ。研究会で授業づくりのポイントを聞いて、こんなにもテクニックがあるんだ！！と驚いた。特に言語活動の視点を知ることができ教壇に立つ前の貴重な経験となった。

以上のように参加した学生からは各自の参考になった指導方法について感想をいただきました。

今年度から試行的に学生の教師力や授業力の向上を目的として教育実践総合センター主催の公開授業を行いました。2回の授業とも学生の皆さんのお役に立てたように感じます。

2月17日は、卒業する4年生を原則対象に、4月から現場教師として立つための、「初任者元気アップ講座（仮称）」を開催する予定です。詳しくは冒頭の記事をご覧ください。



算数の授業を受ける学生たち



経験豊富な先輩教師の指導方法を学ぶ

■教育相談室に関するお知らせ

「教育相談室（L-428）」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室（J号館4階）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵はJ号館1階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出ししております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見るができます。